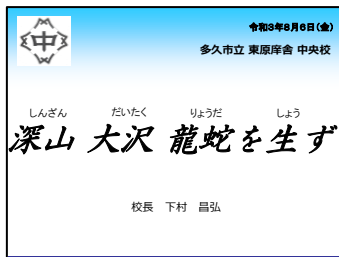


令和3年8月6日（金）
全校登校日

学びて時にこれを習う

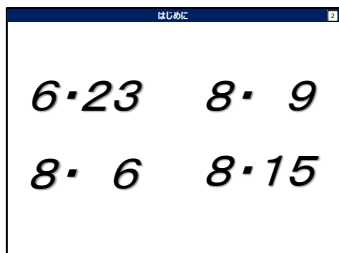
学校長 下村昌弘



全校の皆さん、おはようございます。校長の下村昌弘です。

皆さん、夏休みはどんなふうに過ごしていますか。たのしい夏休みももう三分の一が過ぎてしまいました。残りの日々を大事に過ごしてくださいね。

今日は8月6日。全校で平和について学びを新たにしました。



くわしい内容については、もう繰り返しません、あらためて皆さんにお願いしたいことは、「6・23」、「8・6」、「8・9」、「8・15」、この4つの数字を忘れてはいけないということです。

何の数字が分かりますか？ 分からない人は担任の先生やお家の人に尋ねてみてください。

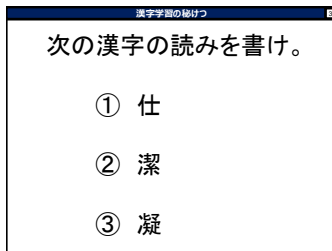
さて、話しは変わって、今日は、漢字の読み書きのコツをお話ししましょう。

国語の勉強では、漢字の読み書きの問題がよく話題になります。みなさんにもこの夏休み、漢字の宿題がたくさん出ているのではないのでしょうか。

漢字が読めないと、文章を読み解く自信がだんだんなくなっていき、本を読むこと、文章を読むことに対してだんだん消極的になっていくものです。

ではどうしたら漢字の読み書きに自信を持てるようになるのでしょうか。

次の例を見てください。

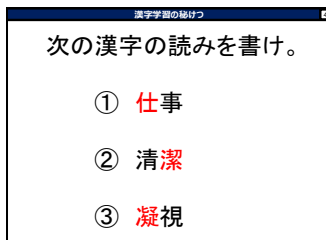


次の漢字の読みを書け。どうですか？ 読めうで
しょうか？

- ① 仕 ② 潔 ③ 凝

1・2年生の皆さんにはちょっと難しいかもしれませんが、
まだ習っていない字ですから読めなくても気に
しないでください。①の漢字は3年生で習うものです。②の漢字は5年生、③の
漢字は7年生で習うものです。

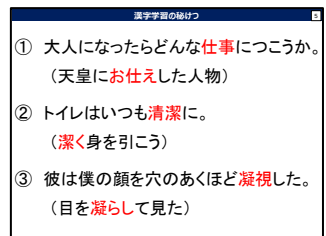
これが全部読めれば、相当な力があると思いますが、このように、一字の場合
は読めなくても、



- ① 仕事 ② 清潔 ③ 凝視

のような形にすると読める人も出てくるでしょう。

これをさらに、



- ① 大人になったらどんな仕事をしようかなあ。
(天皇にお仕えた人物)
② トイレはいつも清潔にし。
(深く身を引こう)
③ 彼は僕の顔を穴のあくほど凝視した。
(目を凝らして見る)

このように、短文の中で生きて働いている形にすると、なお分かりやすいでし
ょう。

ここに漢字の勉強の秘訣があります。

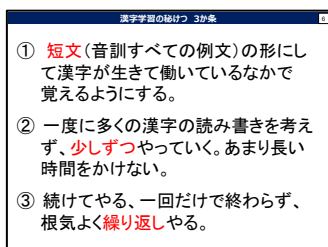
漢字は、その漢字一字だけを取り出し、その漢字の読み、書きを練習するの
ではなく、その漢字が生きて働く短文として理解し、その中で読み書きを覚えるよ
うにするのです。

そうすれば、その漢字がどういう意味を表すのか、また、どういうふうに使われるのかも漢字を練習しながら理解していくことになり、より効果が出てきます。

漢字には一字一字意味があります。その意味と共に読みを覚え書き方を覚えていくことが大切です。

ではまとめます。

漢字の勉強の秘訣は、



①短文(音訓すべての例文)の形にして漢字が生きて働いているなかで覚えるようにする。

それから、

②一度に多くの漢字の読み書きを考えず、少しずつやっていく。あまり長い時間をかけない。

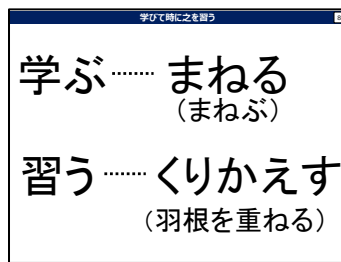
③続けてやる、一回だけで終わらず、根気よく繰り返してやる

といったことも大事で、これが漢字の勉強の三か条です。

最後の「繰り返してやる」に関連してですが、8月になって校門の掲示物が変わりました。気づきましたか？



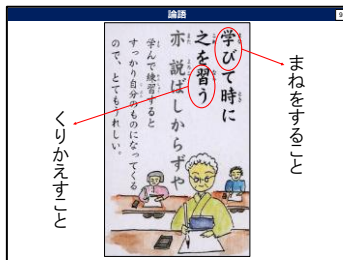
学びて時に之を習う 亦た説ばしからずや。



「学ぶ」は「まねぶ（まねをする）」からきた言葉だと言われています。つまり、「先人のまねをする」ことが「学ぶ」ことです。

そして、「習（習う）」とは、「鳥が羽をばたばたさせて飛ぶこと」を表しています。つまり「習」とは「繰り返し練習をすること」です。

こうして「真似」をし、「繰り返し」やっていくうちに、本当にその在り方が分かってくる。その時の喜びは何物にもたえようがないというのがこの論語の意味です。



さて、夏休みも後半戦。やり残した宿題もまだ多いでしょう。1学期の終業式には「自分の頭でしっかり考えて」と話をしました。今日はそれに「繰り返してわかったという喜びを味わって」というメッセージを加えて、登校日激励の話とします。



オリンピックも後半戦です。おへそにオリンピックの話題も書いています。後で読んでください。



では、残り18日。悔いのない夏休みを過ごしてください。